

お寺参り

お寺には

本尊様はじめ観音様（のんのんさま・のんさま）お地藏様など沢山の仏様が祀られています。仏様はどなたも皆な大きな霊力功德力をお持ちで、常に私共を助けようと思っています。

本尊様に

まっさきにおまいりしましょう。合掌礼拝し“なむナム南無”と、お唱えするとき本尊様のお徳を頂戴できます。

そして本尊様の前に坐す時には、本道で（浄土）で修行（生活）してみえるご先祖様を思い浮かべてください。

次に、本堂に祀られている沢山の仏様方を“なむナム南無”と礼拝してまわり（御尊号の分かる時は、その名前を唱えます 南無釈迦無尼仏、南無地藏菩薩など）そのお徳を頂戴し、最後にその功德をご先祖様（御位牌）にさし上げます。此の時、御先祖様方は霊力を増し子孫をおまもり下さいます。

そしてもう一度本尊様にお礼参りです。〔御位牌の納めていない方、或いは他所のお寺にお詣りしたときにも、同様の心得でお参りしましょう〕

寺位牌

本堂は此の世の目に見える浄土、ご先祖様方はご縁・御導きを戴いた本尊様のお膝もとに安住し、法楽（シアワセ）の生活をして見えます。

菩提寺にお位牌を納めます。これは御先祖様が本尊様のお膝元で修行し法楽の生活をしてみえる姿を形にあらわしたものです。

本尊様にお参りする時はその前に坐ってみえる御先祖様を思い描くのです。その姿を型として表したのが「寺位牌」です。

この本堂を吾が家に作ったのがお仏壇ですね。

お寺では、三百六十五日朝のお勤め（読経）をしては線香・お花・お水をあげ、燈明（ローソク）を輝かし檀信各家の繁栄を祈り、また御先祖様方の供養をしております。

皆様も、お盆・お正月・お彼岸だけでなく御命日・御年忌など、折にふれ時にふれ本堂に上がり、おまいりして合掌礼拝し、仏心を磨き、仏縁を深め先祖を供養し、霊力を頂戴しましょう。

お地藏様

墓地の本尊様です。先ずお地藏様にお参りしてから自家のお墓にお参りしましょう。

”地獄で仏” というのはお地蔵様のことです。

六道能化地蔵願王菩薩といい、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六道（六つの世界）のあらゆる人々をお救い下さいます。

無縁仏様

どの墓地にも子孫が絶えるなどして、供養を受けることの出来なくなった方のお墓（無縁塔）がまつられています昔は縁のあった方々です。

こうした「無縁さま」にもまたお参りし水や線香、お花などを手向け親切心を廻らしましょう。

自他共に救われるのが仏教精神です。あらゆる人の幸せなくして自分の真の幸せはあり得ません、お互い親切にしあいたいものです。自家の墓地だけでなく

お地蔵様・無縁様・水道場・通路などもお掃除させて頂き、功德を積みましょう。

お墓参り

御先祖様をお導き下さるお地蔵様、供養をまってみえる無縁様に先にお参りし、そこで頂戴した功德を持って自家のお墓に、ゆっくりお参りです。

お花・お水かえ、線香・ローソクをお供えし、読経（舍利礼文 三編）です。

時には墓石を磨き、草取りもします。これが自分の心のお掃除であり修行です。

ご先祖の血（遺伝子）は、あなたの体（血）に流れています。一生懸命おまいりし、供養を重ねていけば、御先祖様のお徳（成仏力）霊力は高まり必ず子孫をお守りくださいます。

ご先祖様を供養することは、自分自身を供養すること、子孫を供養することです。きっと一家一族の幸せが得られます。

仏祖 憐れみの余り 広大の慈門を開き置けり

仏様はいつでも何処でも貴方を迎え入れて下さいます。自ら仏様との縁を求めましょう、手を合わせてみてください、必ずや平安が得られます。お経を手にとり読んでみましょう。きっと人生の指針が得られます。

積善の家の余慶あり

仏様にも御先祖様にも草木にも ”なむナム南無” と手を合わせましょう。

合掌や はや蓮葉の 蕾かなと 大功德となります、来世への仏縁です。

貴方の手の合わせ姿は子孫への良きお手本です。それを見る人も、聞いた方も、大功德。皆な共に救われることでしょう。

お寺のお墓

先祖を祀る二大聖地です。人類の文化は、亡き人を悼み供養し、成仏再生を願い、その恩恵を授かる場処としてお墓を造った事に初まります。まさにお墓は人類最古の文化であり、宗教と文化は表裏一体です。先祖の恩恵を忘れ、お墓を忘れ、お寺を忘れた時、人間はまた元の動物にあともどりです。先ずは仏壇、お墓、お寺にお参りし、心からの糧としてお経をあげましょう。きっと心が安まります。